

## やわらかい生活 (2005)

メディア 映画  
ジャンル ドラマ  
製作国 日本  
色彩 Color  
時間 126分  
初公開日 2006/06/10  
公開情報 松竹

## 【キャッチコピー】

それとな〜く幸せ

## 【解説】

『沖で待つ』で2006年度の第134回芥川賞を受賞した注目の女性作家・絲山秋子のデビュー作『イツツ・オンリー・トーク』を、「ヴァイブレータ」の廣木隆一監督、寺島しのぶ主演コンビで映画化。下町でも山の手でもない町、蒲田を舞台に、35歳で一人暮らしのヒロインの何気ない日常を等身大で描く。一流大学から大手企業の総合職とキャリア街道を突き進み、仕事もプライベートも気を張りつめてがんばってきた橘優子。しかし、両親と親友の突然の死をきっかけにうつ状態へと落ち込んでしまう。以来、躁鬱病を抱えて入退院を繰り返す優子は、やがてなんとなく居心地の良さを感じて東京の端っこ、蒲田へと引っ越してきた。そんなある日、いとこの祥一が転がり込んでくる。はじめは優子の躁と鬱の落差に戸惑う祥一だったが、それでも優子のためにと、かいがいしく世話を焼く。その後も、優子の周りには不思議とダメ男たちが集まってくるようになり、優子の心も少しずつほぐれていくのだった。

## 【クレジット】

|         |   |  |
|---------|---|--|
| 監督      | 廣木隆一                                    |  |
| 製作      | 川島晴男<br>石川富康<br>渡辺純一                    |  |
| プロデューサー | 森重晃                                     |  |
| 原作      | 絲山秋子                                    | 『イツツ・オンリー・トーク』（文藝春秋刊）                                    |
| 脚本      | 荒井晴彦                                    |  |
| 撮影      | 鈴木一博                                    |  |
| 美術      | 原田恭明                                    |  |
| 衣裳      | 宮本まさ江                                   |  |
| 編集      | 菊池純一                                    |  |
| 音楽      | nido                                    |  |
| 照明      | 上妻敏厚                                    |  |
| 録音      | 深田晃                                     |  |
| 助監督     | 宮城仙雅                                    |  |
| 出演      | 寺島しのぶ<br>豊川悦司<br>松岡俊介<br>田口トモロヲ<br>妻夫木聡 | 橘優子<br>Etsushi Toyokawa<br>橘祥一<br>本間<br>痴漢Kさん<br>気の弱いヤクザ |

大森南朋  
柄本明

バツハ  
橋昭夫